

官公庁・学术界からのメッセージ

NEDO プロジェクトとニューガラスフォーラム

京都大学大学院工学研究科

三浦 清貴

今年は、ニューガラスフォーラム設立30周年を迎える年とのこと、ガラス産業に携わる一研究者として、お祝いを述べさせていただくと共に、ガラス産業の発展にご尽力いただいていることに心より感謝申し上げます。

現在、我々は内閣府が推進するSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）において、NEDOが委託事業として実施している「革新的設計生産技術」の一つとして「ガラス部材の先端的加工技術開発」（平成26年10月より）に取り組んでいます。このプロジェクトは、産業技術総合研究所（関西センター）と複数の企業と共に、ガラスの成型・切断・接合という3つのガラス加工上の要素について、次世代の革新的設計生産技術を確立し、多様なイノベーションを実現することを大きな目標として推進しています。実は、このプロジェクトの基盤技術の一部は、「三次元光デバイス高効率製造技術」（H18-22年度）プロジェクトでの成果です。さらに、この前身となるプロジェクトがNEDO「ナノテクノロジープログラム」の「ナノガラス技術」プロジェクトであり、京都大学の平尾一之教授をプロジェクトリーダーに、ニューガラスフォーラムの全面的なバックアップによりNEDO評価委員会で高い評価を獲得したことが、結果として現在のSIPにも繋がっていると言えます。加えて、これまでにニューガラスフォーラムとの関わりの中で得られた経験とプロジェクトで活用させていただいた機器の一部が、現在も当研究室においてアカデミックな研究に役立っており、学生はもとより若い研究者の育成にも有効活用されています。

ガラス産業の発展、特に革新的な技術開発においては、大学、公設研究機関と企業とが同じ土俵で研究開発を進めていくことに重要な意味があり、ニューガラスフォーラムが積極的に関わることで採択された国家プロジェクトでの成果が、少なからずガラス産業の発展に貢献していることは間違いありません。産官学を取りまとめる中核となるニューガラスフォーラムの存在が、新たなものづくりスタイルを組織的・効率的に広く普及・展開させることで、最近良く耳にする「地域発のイノベーション」を実現し、これまで以上にグローバルトップを獲得できる新たな市場を創出すると共に、国際競争力の強化に大きな役割を果たしていただけることを期待しています。